

女性人材データバンク等を活用したネットワークの構築 【秋田県】

総事業費	1,386千円
交付金額	693千円

地域の実情と課題

- 本県の総人口は941,748人(令和4年1月1日現在)で、この1年間で14,713人(1.54%)減少するなど、人口減少や少子高齢化が急速に進行している。
- 女性の有業率は全国平均を上回り、育児をしている女性の有業率は全国上位にあるものの、管理的職業従事者に占める女性の割合は低く、政策・方針決定過程への女性の参画は遅れている状況にある。

事業の特徴

- 女性女性人材データバンクを構築し、その活用を周知することにより多様な分野における政策・方針決定過程への女性の参画拡大を図るとともに、データバンク登録者やあきたF・F推進員、男女共同参画センター職員など県内で活躍する女性等を対象に講座や分科会を通じた意見交換等により相互連携の仕組みを整え、その活動を促進した。

事業の効果

- 「秋田県女性人材データバンク」を関係機関等に周知したことで、庁内においても「審議会の委員選定の参考にしたい」などの声があり、様々な分野での女性の登用に寄与できた。
- 女性人材データバンク登録者やあきたF・F推進員等を対象とした連携会議を開催し、アンケートでは、「企業経営者と働く側のそれぞれの話が聞け、女性の働き方を考える良い機会となった」など、ジェンダー平等や女性活躍について理解が進んだほか、意見交換により参加者間のつながりを強めることができた。

目的・目標

- 県内民間事業所の管理職(課長相当職以上)に占める女性の割合については、令和7年度目標23.0%に対し、令和4年度実績は21.1%(達成率91.7%)。

連携団体

【あきた女性の活躍推進会議】

- 経済団体
 - ・秋田県商工会議所連合会
 - ・秋田県商工会連合会
 - ・秋田県中小企業団体中央会
 - ・秋田県経営者協会
 - ・秋田経済同友会
- 農業団体
 - ・秋田県農業協同組合中央会
- 秋田県中央男女共同参画センター指定管理者(NPO法人いきいきFネット秋田)
- 労働団体
 - 日本労働組合総連合会秋田県連合会
- 行政
 - 秋田労働局、秋田県、秋田県市長会、秋田県町村会
- ※オブザーバー
 - 金融機関、企業支援機関等

今後の課題

- 登録されている女性人材数の増加と、「秋田県女性人材データバンク」を更に周知することで女性人材の活用を促進する必要がある。
- 男女共同参画センターを拠点とし、女性人材データバンク登録者やあきたF・F推進員等のリソースの連携強化を図るために、センターが実施する研修等の企画・運営への参加や相互協力が図れる体制づくりを進める必要がある。

事業の概要

女性人材の活用促進

県内の政治、経済、社会などあらゆる分野における政策・方針決定過程への女性の参画を進めるため、各分野において活躍する又は活躍が期待される女性を、「秋田県女性人材登録名簿」に登録し、本人から公表について同意を得られた項目を掲載するウェブコンテンツ「秋田県女性人材データバンク」を作成・周知した。

あきたの男女共同参画連携会議の開催

女性人材データバンク登録者やあきたF・F推進員、男女共同参画センター職員など県内で活躍する女性等を対象に講演や分科会を通じた意見交換等により相互連携の仕組みを整え、その活動を促進することを目的として、取組事例発表、基調講演や分科会を開催した。

- [開催日] 令和4年10月1日(土)
- [開催場所] 秋田県生活総合文化会館「アトリオン」(秋田市)
- [開催形態] リアル及びオンライン形式
- [開催規模] 90名(うちオンライン21名)
- [開催内容] ・取組事例発表
発表者 秋田市担当者
あきたF・F推進員 鶴木 恵子 氏
- ・基調講演
講師 萩原 なつ子 氏(国立女性教育会館 理事長)
- ・分科会 ①企業における女性の活躍推進に向けた取組
②男女平等など人権の尊重
③男性の介護への参画
④政治や行政分野における女性の参画

